

記念講演

望月衣塑子さん(東京新聞社会部記者)

「今、報道の現場から」

～政権とメディア～

6月16日(土)14:10～16:10

会場 木更津市中央公民館・大ホール

(木更津市中央 1-15-4)

入場 無料

主催 平和・人権・教育と文化を考える会

連絡先 090-6149-4132 栗原



官房長官の定例記者会見に彗星のごとく現れ、するどい質問を続け注目をあびている望月衣塑子さん。記者としての歩みや仕事への思い、政権によるメディア統制の実態や政権の現状などについて語ってまいります。

望月 衣塑子 (モチズキ イソコ)

大学卒業後、東京・中日新聞に入社。千葉、神奈川、埼玉の各県警、東京地検特捜部などで事件を中心に取材。2004年、日本歯科医師連盟のヤミ献金疑惑の一連の事実をスクープ。自民党と医療業界の利権構造を暴く。

09年、足利事件の再審開始決定をスクープ。東京地裁・高裁での裁判を担当。その後経済部記者、社会部遊軍記者として、防衛省の武器輸出、軍学共同などをテーマに取材。

17年4月以降は、森友学園・加計学園問題の取材チームの一員となり、取材。官房長官会見で質問し続けている。

12月平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞を受賞。主な著書『THE独裁者 国難を呼ぶ男! 安倍晋三』(ベストセラーズ、2018年2月) 『追及力 権力の暴走を食い止める』(光文社新書、2018年) 『新聞記者』(角川新書、2017年) 『武器輸出大国ニッポンでいいのか』(あけび書房、2016年) 『武器輸出と日本企業』(KADOKAWA、2016年)

2018年「平和・人権・教育と文化を考える会」	
総会と記念講演	
総会	13:30～14:00
講演受付	14:00～
記念講演	14:10～16:10
閉会予定	16:30

会場へのアクセス…JR 木更津駅西口から徒歩 5 分